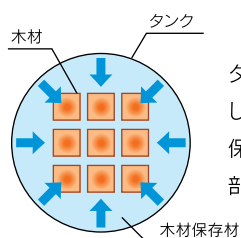


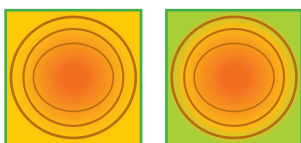
シロアリから住まいを守る 防蟻対策

木造住宅の天敵、シロアリ。主に床下や玄関周りから住宅に入り込み、表からは見えない家の構造部分を食害します。家の構造部分がシロアリによって食害されると、木材の強度が弱まり、安全性が損なわれます。

ケントホームズでは、土台・大引には防蟻材を加圧注入しています。また、柱、間柱、筋交い等のうち地面から近い部分は表面に防蟻材を塗布し、シロアリの食害を防ぎます。さらには、JOTOテクノ製品「基礎パッキンロング」を使用。床下全体の換気をスムーズに行うことにより、湿気を好むシロアリの寄せ付けにくくしています。



タンク内の圧力を下げ真空状態にし、木材中の空気を抜いた後に、木材保存材を注入し圧力を高め、木材内部まで浸透させます。



塗布処理木材
浸透イメージ

加圧処理木材
浸透イメージ

木材の表面だけでなく塗布処理に比べ、より深くまで浸透します。

土台には最も効果の優れた 桧の加圧注入処理

加圧注入とは、木材を注薬管と呼ばれる窯にいれ、高い圧力をかけながら薬剤を木材内部まで深く浸透させる方法です。保存処理方法の中では最も効果が優れているとされています。

木材深くまで薬剤が浸透するため、腐りやすい辺材部分(木材の外側の白っぽい部分)全体を保護します。施工後に塗布する方法では表面から2~3mmでしか薬剤が浸透せず割れ口から腐敗がしやすいという弱点がありました。一方加圧注入したものは、表面から1cm以上迄浸透しているため長期間、耐久性を維持することが可能です。

さらに加圧注入する木材に桧を使用しています。桧の特徴は乾燥性に優れ湿気に強く、桧の香りの成分である桧油精分は優れた防虫効果を含んでいるため、桧×加圧注入によりお客様の大切なお家をお守りします。



人と環境にやさしい防蟻処理

塗布防虫剤蟻処理(木部処理)

一般室: 基礎天端から1000mm

水まわり室: 基礎天端から1500mm

浴室: 基礎天端から2600mm

●薬剤/イミダクロプリドを主成分の処理剤

●特徴/防蟻・防腐・防カビのトリプルパワーで木部をガード。

シックハウス症候群の一因とされる揮発性有機化合物(VOC)に該当する成分は使用しておりません。

防蟻材の散布で食害から防ぐ

地盤面から1mまでの基礎・土台・柱にシロアリが嫌う防蟻材を散布します。薬剤はオプティガード、ハチクサンMEを使用しており、高い防蟻効果が期待できます。超低臭性でシックハウス関連の物質を含んでいないのも安心な点です